2014.7.23→2020.7.24

毎週水曜日連載
NIKKAN SPORTS SPECIAL

こうなる!! 古舘伊知郎の東京五輪実況

超厳戒 テロ対策必至の時代「平和に向け努力する祭典」に

300回超え 大連載第104回
開幕4年前企画第2弾

古舘伊知郎（61）は2020年東京オリンピック開会式の実況アナウンサーを狙っている。過去、テレビ局に所属せずに大役を担った人はいない。それでも12年続けた報道キャスターから離れた今だからこそ、4年後の7月24日に叫びたい夢がある。まずは、架空実況を紹介する。【久我悟】

「1割5分、世界は平和になりました。あのシリアもそうです。「イラクは分割して統治せよ」。ローマ時代に言われた定説がそのままあてはまるような、皮肉な状態が続いておりましたが、この4年で少し平和になりました。今、イラク選手団の入場です。おーっと！ オリンピアンとパラリンピアンが一緒に行進しています。もはやオリンピックとパラリンピックの境界線は一切見えません。この4年間の苦労が実りました。村上解説は作家の村上春樹さんです。村上さん、よろしくお願いします!!

日の丸柄の扇子を手に気合が入る古舘伊知郎（撮影・山崎安昭）

開会式入場行進を実況しつつ村上春樹氏の解説起用を説明

「内戦が続いている南スーダンの選手が入場してきました。以前スピーチでガザ攻撃を批判した、村上さん、どうですか？」

筆の力とガザ

前回東京大会の特長として、古舘は「筆のオリンピック」を挙げた。三島由紀夫、開高健、石原慎太郎、大江健三郎といった人気作家が、雑誌や新聞でオリンピックに迫った。

古舘 大江さんはちょっと批判的だったり、三島さんは「東洋と西洋を結ぶ火」をこう書き出しています。「やっぱりこれをやってよかった。これをやらなかったら日本人は病気になる」って、日本人の鬱憤（うっぷん）をここで晴らすんだと、礼賛しているんです。日刊スポーツもこの連載を長期間続けているように、筆の力を総動員することも、4年後の平和の何割か増しにつながると思う。

村上氏の解説起用も「筆のオリンピック」の一環だという。09年、エルサレム賞授賞式のスピーチで、イスラエル大統領を前に、「卵と壁」を例えにして、ガザ攻撃を批判した。

古舘 壁の側に立つか卵の側に立つかと言えば、私は弱い立場の卵の側に立ちますって、あの演説には感激しました。だから今、内戦が続いている南スーダンの選手が入場してきたら「どうですか、村上さん」と振ってみたい。村上さんもあれだけ発言したのだから責任がある。オレの横に付いてくれ村上春樹。知り合いじゃないから、まだ口説いていないけど（苦笑い）。「どうせ平和になんかならないんだ。イベントで盛り上がればいいんだよ。甘っちょろいこと言うな」っていうやつらが一番頭にくる。夢が必要なんだ。そもそもオレが実況に起用される根拠もないけど。実現するしないより実況をやりたいって4年間、自分の中で聖火を燃やし続けることが大事なんです。村上さんを呼ぶキャンペーンは下ろしません。

東京パラリンピックは、オリンピック閉幕から約2週間後の8月25日に開幕する。すでに日程が決まっている両大会の合同開催も、無理を承知で提案する。そして、これまで主戦場としてきた、報道や情報番組への苦言にも及んだ。

古舘 オリンピック後の開催では、どうしてもパラリンピックが地味になってしまう。閉会式のように、一緒に和気あいあいと行進して欲しいです。エンブレムの変更も、予定を変更して延期したじゃないですか。4年あるんだから、融通を利かせればいい。テレビ局も何か問題があればみんな同じことばかりやっている。舛添前都知事だったら、舛添さんばかり。情報番組が「オリンピックとパラリンピックの同時開催はできないか。計画変更を提案します」ってぶちあげてもいい。パラリンピアンはやっぱり悲しみがあるからこそ明るい。つらさがあるからこそ、今とてもいい表情をしている。この4年間でもっと選手1人1人をフィーチャーして、その固有の人生をテレビドラマ化したり、徹底して紹介するバラエティー企画もいい。何なら司会をやりますよ。

村上春樹氏のエルサレム賞スピーチ 09年、ノーベル文学賞の登竜門とされる同賞を受賞した村上氏は、イスラエルの大統領が出席する中でスピーチ。周囲からガザ地区への攻撃が続く同国での授賞式は欠席するよう勧められたことを明かしながら「高く、硬い壁があり、それにぶつかって壊れる卵があるとしたら、私は常に卵の側に立つ」。爆弾や戦車などが壁で、攻撃された市民が卵だと説明すると、大統領が表情をこわばらせた。

ドーピング敗者復活戦実況

「ドーピング第3レース、私古舘が担当します。検出ステロイドの質や量から、この400㍍は23・8㍍手前から走ってもらいます」

素浪人だから

「報道ステーション」で取り組んだ環境問題など、キャスターの経験を踏まえた提言もあった。敵対する国同士や、内戦が続く国と地域の選手を集めた連合チームを結成し、正式種目後に、バトンリレーしてアスリート同士の絆を確認する場面も思い描いた。例えばイスラエル、イラン、イラク、クルド人選手によるチームだ。一方、深刻化するドーピング問題については「過激なしゃべり手」ならではの大胆なアイデアも。

古舘 ドーピングは医療機関や国家の思惑に監督やコーチが絡んで、選手が犠牲になった面もある。だから、ドーピング撲滅キャンペーンと同時進行で、ドーピング選手を敗者復活させるんです。やっちゃったのは悪いけど、出場しないと盛り上がらない。辱めの意味でもドーピング枠をつくる。「検出されたステロイドの質や量から、この400㍍は23・8㍍手前から走ってもらいます」ってハンディをつける。正規レースは局のアナウンサーに任せて、「ドーピングオリンピック第3レース、私古舘が担当します」って、別の競技場でやってもいい。バカなことをと思うかもしれないけど、少し寛容にならないと面白くないでしょう。

12年間、キャスターとしてあらゆる真相に迫ったからこそ、過激な発想にも弱者に歩み寄るやさしさがにじむ。しかし、キャスター時代にはなかなか聞かれなかった発言であり発想だ。

古舘 あまりに言えなかったからやめたんですけど（笑い）。離れたから言えることもある。負け犬の遠ぼえでも、外野から叫んでいるって言われたっていい。僕はオリンピックの重要な立場でもないし、報道のキャスターでもない。素浪人だからこそ言えるんです。

1時間33分10秒。1杯のコーヒーを飲み干しもせず、語り続けた取材を、ゆっくり、静かに、締めくくった。

古舘 僕はあの市松模様のエンブレムが好きです。僕には人種問題や民族問題の融合でもあり、境界線引いて戦っている内戦の融合を表現しているようにも見える。今はオリンピック、パラリンピックと分けている2つのエンブレムが、本当は1つでしたって、開会式で1つになるのを見たい。4年かけ努力してきたから許されるだろうって。

東京五輪後の都民生活を語る

「この施設をその後どう使っていくか、4年間オリンピック関連で雇用した人たちを閉幕後、社会福祉関連で雇用する青図を作るなど会議も欲しいですね」

アイデア拍車

31日には新しい都知事が誕生する。都知事選の報道で、ある一般紙が「都知事に最も力を入れてほしい政策」をアンケートすると、「子育て・教育」と「医療・介護」で8割を超え、五輪は1割弱だった。古舘が掲げる「平和に向かって努力する祭典」とは、大会を終えた後の都民の生活にも目を向け、準備する4年間にする意味もある。

古舘 東京の老人が最も施設に入れなくて困っている。老人問題が深刻なエリアだと言われてます。待機児童もまた増えた。もうこれはオリンピック予算だ、福祉予算だと分けられない。重なっている部分があるんじゃないかと思うんです。施設をその後どう使っていくか、4年間オリンピック関連で雇用した人たちを閉幕後、社会福祉関連で雇用する青図を具体的に作るなど、ジャンルが違う学者が一堂に集まる会議も欲しい。五輪後の生活に密着したアイデアなら、4年間の準備がわくわくして拍車がかかると思う。オリンピックという扉をポンと押したら、忍者屋敷のからくり扉みたいに福祉問題に転換できるよう、この4年間が大事だと強く思う。都民の生活は東京オリンピック後も続く。通過点にしないと底上げはできない。

80年代プロレス名実況

「夜ヒット」MC 初代前田武彦と

「オシャレカンケイ」ゴクミからアレジ話

96年 松たか子と紅白司会

04年「報ステ」キャスターに

「報ステ」今年卒業

「僕は一時期、あまりに商業主義にまみれたオリンピックに冷めた。でも、今、世界は内戦まみれ。オリンピックをやってる場合か？ っていう意見もあるけど、やってる場合じゃないから、やってる場合なんだって思う」

「鳥鳴く山里」

えっ、解説は村上春樹氏!! 意外な超大物の人選も含めて、冒頭の架空実況を古舘が夢想するのも、理想の東京オリンピック像があるからだ。それをひもとく前に、まずは、1964年東京オリンピック当時、東京都北区立滝野川第二小学校4年生だった古舘少年の思い出を聞いてみた。

古舘 今でもはっきり覚えています。その日は学校が終わると書道教室に通ってました。オリンピックの開会式をあおるように、東京中で花火がどーん、どーんと上がっていた。そんな中で「鳥鳴く山里」ってその日の課題を書いた。女性の先生が朱で直してくれるんだけど、外ではどーん、どーん。これじゃあもう鳥も鳴いてないって、山里じゃないし。オリンピックに興奮しきっていたから、そんな情景が記憶としてはっきり残っている。僕の中では「鳥鳴く山里」と「東京オリンピック」が対になっているんです。

どんなささいなことでも、見るもの聞こえるものすべてに興奮していた。閉会式の電光掲示板に浮かび上がった「（次回開催地の）メキシコで会いましょう」の文字に、パスポートを取得しようと考えた。大会後、公開された映画「東京オリンピック」（市川崑監督）を、近くの映画館で課外授業として全校生徒で観賞したドキドキ感も忘れられない。ただし、少年には見えていないこともあった。

古舘 昭和39年は高度経済成長で映画「ALWAYS 三丁目の夕日」みたいに、今よりも平和だったと、思い出を美化しているところがある。実は五輪開幕の約4カ月前、新潟地震という大きな地震があって、8万6000人もの被災者をだしていた。一方の東京は7月に駒沢オリンピック公園、8月に首都高速1号、4号線が完成。開幕ぎりぎりの10月1日に東海道新幹線が開業した。世界銀行から大借金してでも、敗戦国がここまで経済発展したというのを、世界に見せなきゃいけないというのがあった。その世界も、開幕5日後の10月15日にソ連のフルシチョフ議長が解任。16日には不参加の中国が初の核実験に成功した。国内外が混沌（こんとん）とした中で、何が何でもオリンピックをやらなければ…だった。

その後、僕は一時期、あまりに商業主義にまみれたオリンピックに冷めていった。でも、ここにきてリオから東京に向かう時、時代の転換期ということで、オリンピックが1つの道路標識として役に立つことがあるはずだと思うようになった。今、世界は内戦まみれで、イスラム国の問題もあって、まったく出口が見えない。オリンピックをやってる場合か？ っていう意見もあるけど、やってる場合じゃないから、やってる場合なんだって強く思う。今、世界経済はグローバリズム。金の回り方に国境などなくなってしまった。そのぶん、各国でナショナリズムが台頭するという矛盾。超厳戒態勢、テロ対策を施しながら「平和の祭典」というのは背中がむずがゆい。だから僕は「平和に向かって努力する祭典」って言い直せばいいんじゃないかと思う。例えば中国をけん制する包囲網を築きつつ、その一方で寛容に「オリンピックに向かってあと4年間、少し今より仲良くしませんか。南シナ海で少しはフィリピン、ベトナムの立場に立とうよ」って。そのために憲法9条は持っておいた方がいい。平和憲法70年以上履行しておりますって、1つの売り文句なんですから。

架空実況冒頭の「1割5分」とは、4年間の努力が上積みされた数字だ。少しでも「平和の祭典」に近づくために、外交も内政も官民一体、みんな一緒に努力しようと願っている。

しゃべりの申し子プロ40年!! 硬軟何でもござれ

超過激から報道まで古舘伊知郎の歴史

年	主な経歴、担当番組
1954	12月17日、東京都北区滝野川で誕生
61	北区立滝野川第二小入学
67	千代田区立今川中入学
70	立教高入学
73	立教大経済学部入学
77	テレビ朝日にアナウンサーで入社
80	「ワールドプロレスリング」実況で人気「燃える闘魂」など古舘節残し87年勇退
84	テレビ朝日を退社、フリーに
85	フジ「夜のヒットスタジオ」司会、90年まで
87	日本「おしゃれ30・30」司会、94年まで
89	フジ「F1 GP」実況、94年まで
94	NHK「紅白歌合戦」3年連続司会
95	TBS「筋肉番付」司会＆実況、03年まで
97	東京「特別競輪決勝中継」実況、99年まで
99	TBS「世界陸上」実況、01年も
2001	朝日「世界水泳」実況、03年も
04	朝日「報道ステーション」キャスター
16	「報ステ」キャスター降板

NIKKANSPORTS 東京オリンピック特集

2020年東京五輪へ 300人リレーコラム 104人目
題字は北島康介自筆

84年ロス＆88年ソウル五輪出場 ボクシング「アマ史上最強」が呼び名

三浦国宏氏（53）

「粘りの岩手」東北の底力見せたい

今年5月に故郷の岩手でジムを開きました。東京でずっとやってきたんだけど、ボクシング王国岩手の復活を目指したいと思った。帰るなら盛岡しかないしね。アジア、世界、そしてオリンピックと通用するような選手を育ててみたい。

初めてロサンゼルス五輪に出た時は大変だった。国体で平仲（明信）とかに勝つことしか考えていなくてね。で、優勝したら代表。ピンときてなかったんだけど、岩手から初のボクシング五輪代表ってことで地元岩泉で大パレードを行ってくれた。ジープ型の車が何十台も出てね。オリンピックってすごいなと思った。

でも肝心の五輪本番はどうやって試合をしたか覚えていない。あっという間に終わった。地に足がついていなくて、3Rにダウンを奪ったけど判定で1回戦で敗れた。まぁ減量から解放されると思って、選手村でたらふくステーキでも食べようと思ったんだけど国体に出ろって電話が来て食べられず。生殺しだったね。

それからソウルを目指すんだけど、ボクシングで五輪に2回出たのはヘルシンキとメルボルンの石丸利人さんだけ。3年か4年で世代交代して長続きしないとか、周りに三浦は終わったって言われるのが嫌で逆にやってやろうという気になった。ソウルも出て、30歳で挑むはずだったバルセロナ五輪。出場は確実って言われてたんだけど、選考試合前日のスパーリングで左目を切ってドクターストップ。前人未到の3大会連続出場ができなくて、悔しかった。だから五輪にいい思い出がない（笑い）。

アマで通算で218勝（28敗）挙げさせてもらったけど、プロにはなりたくなかった。誘いはもちろんあったけどボクシングに恩返しがしたかったんだよね。昔はプロになったら、アマチュアの指導者には絶対復帰できなかった。だから僕はアマにこだわったんだ。

僕の必殺技は「伝説の左フック」なんて呼ばれたんだけど、生まれたきっかけは右拳を骨折したから。左でしかパンチが打てなかった。でもマイナスを逆にとらえて、伸ばせばいい結果につながるってことなんだよね。

今、ジムには高校生とかが来てくれている。可能性を感じるよね。今の人はど根性とか嫌いだけどさ、やっぱり「粘りの岩手」とか東北の底力を見せたい。20年に向けて、岩手で大都会東京に負けないようにやっていきたいと思う。

◆五輪メダリスト(104)◆ 磯辺サタ（いそべ・さた）＝64年東京大会バレーボール女子金。中学卒業後に日紡貝塚入りし、大阪・四天王寺高を経て再び日紡貝塚。アタッカーとしてチーム最年少の20歳で活躍した。長男・丸山繁守は88年ソウル五輪競泳代表

次回8月3日（水） 日本サッカー「ベルリンの奇跡」から80年

レイアウト・北村典子

お米パスタ アボカド豆乳クリームソース

管理栄養士 川端理香さんがメニュー提案

ジュニアアスリートを応援する 勝ごはん

血糖値上げにくいグルテンフリー

日刊スポーツとイオンリテールがコラボ 「アスリートめし」第3弾発売中!!

心をつなぐ新鮮ギフト お肉のギフト券は、全国加盟店どこでもご利用になれます。 お肉のギフト券 全国食肉事業協同組合連合会 03(3582)1241

住まいのリフォームや環境整備はTRSでOK牧場! 株式会社トータルリフォームサービス 0120-54-7789

UTAZOO COMFORT KARAOKE 個性ある15のカラオケルーム 大人が楽しめるカラオケ空間 ご予約 03-5830-3793

北見マキの技のすべてがわかる 案内書無料贈呈 北見マキのマジック・手品 通信講座

今、話題の「スパシャン＆カミカゼ」が「カスタムカーの森直樹」とコラボ!! INNOVATION事務局 045-534-3010

東日本大震災・熊本地震復興チャリティー 2016神宮外苑花火大会 8/20(土) 19:30－20:30 TEL 03-3547-0920

LEVORG STI Sport Debut! SUBARU 公式サイト http://www.subaru.jp/levorg/stisport/

日本刀のトップブランド 銀座 誠友堂

太陽光発電で遊休土地活用するなら 信頼と実績のスマートグリッドホーム株式会社 0120-836-800

今年の夏は! アイ・キューピットで出会いが待っている! 登録費無料 年会費無料 http://i-qpit.jp/ 0570-019-010

留学とは違う、効果あり。北欧・カナダで、暮らしてみませんか?

2個組だからこんなに便利! 毎分5,800回の高速振動!驚きの洗浄力で入れ歯をピカピカに! これ1台で洗浄から保管まで、気になる入れ歯の汚れに! 入れ歯の汚れをキレイさっぱり。お手入れカンタン、いつも清潔! 入れ歯洗浄器Dr.Agクリーン2個組 月々2,360円×5回 分割がお得です! 分割手数料・送料は当社負担。全国どこでも無料で配送いたします。 生活ネットワーク 日本文化センター 0120-00-2222 FAX 0120-23-2222

（C）日刊スポーツ新聞社